

2016年度以降のカリキュラム適用者

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

リベラルアーツ学群教員一同

博物館学専攻プログラム

履修のしかた

- 本専攻は、博物館学芸員課程とは別個のプログラムとなります。混同しやすいので注意が必要です。
- 「博物館概論」「博物館教育論」「生涯学習概論」は、1年次からの履修が可能なので、早目の履修をお勧めします。
- 2年次から履修できる「博物館経営論」「博物館資料論」などは、「博物館概論」が先修条件となります。

他の専攻プログラムとの関係

- 博物館学を学ぶ上では、各専門分野の資料等に関する知識も必要となります。日本地域研究、文化人類学、歴史学などの専攻プログラムは、とくに関連が深いといえます。
- 博物館の利用者や展示のことを研究する上では、教育学や心理学、社会学などの知識も応用ができるので、マイナー専攻程度の知識を有すると有利です。
- 他学群の科目となりますが、芸術文化学群の「アートマネージメント論」や「社会文化・メセナ論」、ビジネスマネージメント学群の観光関係科目などは、博物館を研究する上で参考となる科目です。

留学・教職その他

- 留学を希望する学生については、そのチャンスを活かして、海外の博物館を一つでも多く見学することをお勧めします。
- 近年、博物館と学校教育との連携（博学連携）が盛んになっているので、教職を目指す学生にもぜひ学んでほしいプログラムです。
- 博物館学芸員資格取得を目指す学生は「博物館実習」が必修となるので、十分な履修計画を立てて臨んで下さい。

学生へのメッセージ

- 本プログラムは、実務的な博物館学芸員を目指すコースとは切り離し、博物館を学問的に追求することを目的として設定された、国内でも数少ないコースです。
- 「もの」を見る視点を習得することによって、博物館的な物の見方や考え方を身につけることができます。
- 博物館学芸員課程と重なる部分が多いため、学芸員の資格を生かして、将来、博物館や文化財にかかわる職業に就く場合に有利です。まちづくりや地域づくり、観光などにかかわるような仕事も、まさに博物館学で培われた知識や経験が活かされる分野です。

博物館学専攻プログラム

1 博物館学芸員を目指す人のための履修モデル

本専攻は、博物館学芸員課程とは別個のプログラムですが、内容的には密接な関係性を持っています。この履修モデルは、博物館学芸員課程を履修し、将来、学芸員として働くことを目指す学生を対象としたモデルです。学芸員の実務や博物館の業務をより深く掘り下げて学ぶことができます。

博物館学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入	◎	MSO1000L	博物館概論	2	◎	EDU2360L	生涯学習概論	2								
理論					◎	MSO2140L	博物館教育論	2		EDU3320L	教育方法論	2				
					◎	MSO2150L	博物館経営論	2	◎	MSO3120L	博物館資料保存論	2				
					◎	MSO2151L	博物館情報・メディア論	2	◎	MSO3140L	博物館展示論	2				
					◎	MSO2110L	博物館資料論	2		MSO3300L	博物館学特論(文化遺産論)	2				
						EDU2300L	教育原理(教職課程)	2		MSO3301L	博物館学特論(文化政策論)	2				
						PSY2120L	生涯発達心理学	4								
					EDU2311L	日本教育史	2									
演習									◎	MSO3660L	博物館実習	3				
トピックス	○	ANT1000L	文化人類学	4	○	JPS2131L	日本の歴史 I	4	○	JPS3140L	日本文化論	4				
	○	GEG1100L	文化地理学	4	○	JPS2132L	日本の歴史 II	4	○	ESC3051L	地球物理学 I	2				
					○	BIO2011L	植物学 I	2	○	ESC3081L	気象学 I	2				
					○	BIO2021L	動物学 I	2	○	ESC3091L	天文学 I	2				
					○	ESC2011L	地質学 I	2	○	BIO3041L	生態学 I	2				
									○	JPS3334L	日本考古学	2				
									○	JPS3354L	日本民俗学	2				
										ECO3342L	地方財政論	4				
										ECO3151L	公共経済学	4				
										EDU3220L	学校図書館メディアの構成	2				
									LIS3270L	情報メディアの活用	2					

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習 I [2]
- ・専攻演習 II [2]
- ・卒業論文 [4]

博物館学専攻プログラム

2 「博学連携」や博物館教育を考えるための履修モデル

「博学連携」とは、博物館と学校教育がそれぞれの機能を活かし合いながら相互に連携することです。博物館と学校教育が連携することにより、学校における学習内容と博物館の実物資料との関連性を持たせることができるとともに、学習効果が高められると期待されています。この履修モデルは、こうした博物館の教育機能を理論的・実践的に追求することを目的としています。また、教職を目指す学生にとっても有意義な学びの機会となるでしょう。

博物館学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000				
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	
導入	◎	MSO1000L	博物館概論	2	○	EDU2360L	生涯学習概論	2									
理論					○	MSO2140L	博物館教育論	2	○	EDU3320L	教育方法論	2					
					○	MSO2150L	博物館経営論	2		MSO3120L	博物館資料保存論	2					
					○	MSO2151L	博物館情報・メディア論	2	○	MSO3140L	博物館展示論	2					
					○	MSO2110L	博物館資料論	2	○	MSO3300L	博物館学特論(文化遺産論)	2					
					○	EDU2300L	教育原理(教職課程)	2	○	MSO3301L	博物館学特論(文化政策論)	2					
					○	PSY2120L	生涯発達心理学	4									
					○	EDU2311L	日本教育史	2									
演習									○	MSO3660L	博物館実習	3					
トピックス		ANT1000L	文化人類学	4		JPS2131L	日本の歴史Ⅰ	4		JPS3140L	日本文化論	4					
		GEG1100L	文化地理学	4		JPS2132L	日本の歴史Ⅱ	4		ESC3051L	地球物理学Ⅰ	2					
						BIO2011L	植物学Ⅰ	2		ESC3081L	気象学Ⅰ	2					
						BIO2021L	動物学Ⅰ	2		ESC3091L	天文学Ⅰ	2					
						ESC2011L	地質学Ⅰ	2		BIO3041L	生態学Ⅰ	2					
										JPS3334L	日本考古学	2					
										JPS3354L	日本民俗学	2					
										ECO3342L	地方財政論	4					
										ECO3151L	公共経済学	4					
										○	EDU3220L	学校図書館メディアの構成	2				
										○	LIS3270L	情報メディアの活用	2				

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・教育学概論〔2〕
- ・教職入門〔2〕
- ・教育制度論〔2〕

博物館学専攻プログラム

3 博物館資料に興味がある人のための履修モデル

博物館の基本は「資料(モノ)」です。資料がなければ博物館は決して成立しませんし、資料がベースとなってすべての博物館活動が組み立てられています。この履修モデルでは、「資料」に焦点を当て、さまざまな角度から各専門分野における資料の基礎知識を習得するとともに、資料に立脚した博物館活動の可能性について考えることを目指しています。

博物館学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入	◎	MSO1000L	博物館概論	2		EDU2360L	生涯学習概論	2								
理論						MSO2140L	博物館教育論	2		EDU3320L	教育方法論	2				
					○	MSO2150L	博物館経営論	2	○	MSO3120L	博物館資料保存論	2				
					○	MSO2151L	博物館情報・メディア論	2	○	MSO3140L	博物館展示論	2				
					○	MSO2110L	博物館資料論	2	○	MSO3300L	博物館学特論(文化遺産論)	2				
						EDU2300L	教育原理(教職課程)	2	○	MSO3301L	博物館学特論(文化政策論)	2				
						PSY2120L	生涯発達心理学	4								
					EDU2311L	日本教育史	2									
演習									○	MSO3660L	博物館実習	3				
トピックス		ANT1000L	文化人類学	4		JPS2131L	日本の歴史 I	4		JPS3140L	日本文化論	4				
	○	GEG1100L	文化地理学	4	○	JPS2132L	日本の歴史 II	4		ESC3051L	地球物理学 I	2				
					○	BIO2011L	植物学 I	2		ESC3081L	気象学 I	2				
					○	BIO2021L	動物学 I	2		ESC3091L	天文学 I	2				
					○	ESC2011L	地質学 I	2		BIO3041L	生態学 I	2				
									○	JPS3334L	日本考古学	2				
									○	JPS3354L	日本民俗学	2				
										ECO3342L	地方財政論	4				
										ECO3151L	公共経済学	4				
										EDU3220L	学校図書館メディアの構成	2				
									LIS3270L	情報メディアの活用	2					

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習 I〔2〕
- ・専攻演習 II〔2〕
- ・卒業論文〔4〕